

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (12-01)

団体名	ママの働き方応援隊 北播磨校	代表者名	代表 中野 典子
事業名	共同養育を促進する赤ちゃん先生クラスの開催事業 一産後パパ育休制度の改正をふまえて		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
10月25日	三田西陵高校	17 (5)	赤ちゃん先生クラス
10月27日	柏原高校	5 (3)	赤ちゃん先生クラス
11月 2日	篠山鳳鳴高校	11 (4)	赤ちゃん先生クラス
11月 6日	やしらの森公園	40 (7)	みんなでチャレンジ☆アウトドアごはん♪
11月15日	北条高校	7 (4)	赤ちゃん先生クラス
11月29日	北条高校	7 (4)	赤ちゃん先生クラス
12月16日	社高校	40 (8)	赤ちゃん先生クラス
1月11日	柏原高校	5 (3)	赤ちゃん先生クラス
1月11日	篠山鳳鳴高校	11 (3)	赤ちゃん先生クラス
2月22日	zoom	当日28 アーカイブ 52 (2)	オンライン研修会 イエナプラン教育実践者からみた赤ちゃん先生クラス 講師：末永静・大江由里子（ころあい自然楽校）

<効果と成果>

赤ちゃん先生クラスでは高校生に、目の前の赤ちゃんから子育てについて学んでいただき、自らの進路を考えるとともに、いま自分にできることを考えるきっかけを得ていただいた。アンケート分析結果からも、赤ちゃん先生クラスが結婚・出産に対してポジティブな変化をもたらしていたことが分かった。

(開催校6校全8回、参加生徒数80人(のべ103人))

アウトドアイベントでは、外でクッキングをするという非日常的な空間を用意することで、皆が何らかの役割を持って行動する意識をつくりだせた。その中でたくさんの大人や高校生たちの目で子どもたちを見守りながら過ごすことができ、一体感を持ってその場を過ごすことで、大きな家族のような安心感を得ることができた。(参加者30人)

オンライン研修会は、イエナプラン教育者に講義していただき、赤ちゃん先生クラスや共同養育の意義や特徴、これからの活動に活かせる知識を得ることができた。(当日参加28人、アーカイブ参加52人)

## <今後の展望>

今年度は共同養育の視点を意識しながら赤ちゃん先生クラスやアウトドアイベントを実施してきた。時代はかなり変化してきているとは言え、まだまだジェンダーによる役割の固定化は、概念として根強いものがある。性別によって役割が決まるのではなく、個人個人の特性によって役割を決めていくことが必要で、それも誰かの意見によって決まるのではなく、対話を積み重ねていくことの重要性を感じた。研修会を通じて、赤ちゃん先生クラスやアウトドアイベントは対話を生み出す機会となっていたことを認識でき、私たちの活動の意義を改めて感じる事ができた。

赤ちゃん先生クラスの事業自体は始まって10年を超え、時代と共に変化してきている。子育て環境も年々変化していく中にあるため、プログラム内容を見直しながら、「今を生きる赤ちゃん」から学べる赤ちゃん先生クラスを今後も展開していきたい。今年度でボランティアプラザからの助成は終了となるため、教育機関との直接のやりとりや、スポンサー開拓をこれからも実施していく。

## <収支決算書>

### (収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	300,000
自己資金	27,989
合計	327,989

### (支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接 経 費	赤ちゃん先生クラス開催費	119,400	119,400
	イベント開催費	77,479	77,479
	研修会開催費	10,000	10,000
	その他 (アンケート分析費)	20,000	20,000
	小 計	226,879	226,879
間接経費 (一般管理費)		101,110	73,121
合 計		327,989	300,000